



被爆・終戦70年

世界平和へ
願いを込めて

第89号 2015・4・1

〇〇〇 心と心を結ぶ 新春フェスタ2015 〇〇〇



第1部『ユネスコ活動奨励賞 授賞式』

環境保全や伝統文化継承、平和交流
などを進める12団体（学校含む）を顕彰

国際理解、国際協力、国際交流などの活動を顕彰する2014年度広島ユネスコ活動奨励賞の授賞式と新春コンサートを組み合わせた恒例の「ユネスコ新春フェスタ2015」は、17回目を迎えて1月24日、広島市文化交流会館で開かれました。

第1部の授賞式は、北川建次会長の挨拶で始まり、続いて選考委員長の中山修一広島大学名誉教授が講評を述べたあと、北川会長が賞状と記念のブロンズ楯を受賞団体に贈って表彰しました。

受賞団体の学校部門は6校。広島市立長東小学校、畑賀小学校、阿戸中学校、広島県立広島井口高等学校、広島市立基町高等学校。社会部門は6団体。NPO法人セトラひろしまグリーンプロジェクト、劇団「花子ちゃんとそのお友だち」、里山環境保全みどり会、特定非営利活動法人虹橋の会、広島フィリピン友好協会、正木地区ホテルの里復元会。合わせて12の学校と団体の活動に対して、

奨励賞が贈られました。

授賞式のあと各学校、団体の代表がそれぞれ日頃の活動を細部に渡って、熱っぽく報告し、参加者に多くの共感を与えました。

（活動の骨子は2頁に掲載）

第2部『新春 コンサート』

男性声楽トリオ
デ・アリードとともに



新春フェスタの第2部「新春コンサート」は、男性声楽トリオ「デ・アリード」によるヴォーカルコンサートで幕明け。

佐崎明宏、上野友隆、道田伸久の3人の男性声楽家が、馴染みのある国内外の歌を素晴らしい歌唱力とハーモニーで歌い上げました（ピアノ伴奏は道田奈美さん）。イタリア・カンツォーネのメドレーに始まって「マイ・ウエイ」から「花は咲く」までの14曲。楽しい語りとともに、ボリュームいっぱい歌声が会場に響き渡り、一同感動、至福のひとつときとなりました。（文化部会長 井尾義信）



活動奨励賞

～ 活動の内容と喜びの声 ～

【学校部門】

○広島市立長束小学校

長束神社に伝わる「長束木遣」を、地域の文化として学校教育を通じて、児童たちが年々継承している。「これからも長束小学校・地域の宝として、伝承に取り組んでいきます」 (日野純子教諭)

○広島市立畑賀小学校

児童が、地域の支援を得て川の水質や生物を調べ、環境を守るための清掃やホタルの成育活動を継続している。「ふるさとの川を大切にし、これからも活動を継続していきます」 (小谷治教諭)

○広島市立矢野南小学校

「はだしのゲン」に学び、麦を育てる体験活動を通して、平和学習と共生に取り組んでいる。「中沢啓二さんの来校をきっかけに、平和学習の一環で、麦作りを行っています」 (川口万理教頭)

○広島市立阿戸中学校

高齢者と触れ合う体験活動を通して、地域の伝統文化を理解し、継承・発展している。「これからも活動を続け、社会に発信し行動できる生徒を育て、地域と共に発展していく」 (久都内文治教頭)

○広島県立広島井口高等学校

生徒は、国際交流で語学力や協調性を養う一方で、体験活動によって自己実現の意欲を高め、対話を重視、主体的に取り組んでいる。「これからもESD活動にまい進します」 (永尾和子教諭)

○広島市立基町高等学校

戦争と原爆の実相を調べ、絵に描く活動を通して、平和な世界の実現のために取り組んでいる。「生徒が活動によって、それまでの受身の立場から、自ら取り組むようになりました」 (橋本一實教諭)

【社会部門】

○NPO法人 セトラひろしまグリーンプロジェクト
公開空き地の美化のため、花を植え付け、管理を継続して協働作業として行っている。「中区袋町の市民交流プラザを拠点に活動しています。これからもがんばっていきます」 (本山剛代表)

○劇団「花子ちゃんとそのお友だち」

演劇、語り、紙芝居などで、平和、愛、障害のある人等への理解を深める活動に取り組んでいる。「これまで長い間支えていただいた関係者の方々に感謝し、これからも活動を続けていきたい」 (阿部頼繁主宰)

○里山環境保全みどり会

里山の下草刈や間伐等による環境保全活動と花見やもみじ祭り等のイベントで、多くの人のつながりを作っている。「みんなが集まり、話し合い、楽しんで取り組んでいきます」 (稲田武義会長)

○特定非営利活動法人 虹橋の会

和紙やちぎり絵と中国画等を通じて、日中の文化・芸術を交流し、両国の友好関係を築き、平和を促進している。「和紙やちぎり絵の作成を教え、民間レベルの交流を続けています。賞をどうもありがとうございました」 (小川敏明副理事長)

○広島フィリピン友好協会

文具や衣服などを現地の養護施設に送り、市在住の人たちとの交流も続けている。「関係者の方たちに、協力や支援をいただきながら継続していきます。ありがとうございました」 (横佩智恵会長)

○正木地区ホタルの里復元会

川を中心に環境を整備し、地域の総力を挙げてホタルの再生に取り組んでいる。「昨年の土砂災害でホタルの飼育地が流されたため、みんなの協力で元通り復活させました」 (事務局森井逸司)

(報告は協会理事 内田一士)

**平和を受け継ぐ
ユネスコスクール**

**(1)
広島大学附属中・
高等学校**

1953年に世界初の指定校。

ユネスコ班中心に活発に活動を展開

去る11月8日、広島大学附属中・高等学校は、第5回ESD大賞（主催：日本持続発展教育推進フォーラム）におきまして、ユネスコスクール最優秀賞を受賞させていただきました。1953年に世界で最初のユネスコ協同学校（現在の呼称はユネスコ・スクール）の指定を受けて以来、今日まで一度も絶えることなくユネスコ教育活動を進めてきたことが、受賞の理由です。

54年にユネスコ教育実験を開始し、70年に部活動

として高校ユネスコ班が作られました。2005年に「ESDの10年」が始まるとすぐにESDをテーマにした研究大会を開催し、ESDの授業を公開し、SSHのテーマにESDを取り入れました。本校のユネスコ教育活動の特色は、ESDの授業と班活動を結びつけているところです。ユネスコ班は、毎年、文化祭で途上国支援のためのフェアトレード活動を行っています。写真は、広島大学の先生とフェアトレードショップの店長を講師にお招きし、フェアトレードの理論を学び、その応用として貿易ゲームを行っているところです。



(教諭・藤原隆範)

2014.12—

「高校生国際理解セミナー2014」を開催

**講座の研さん、寺子屋支援の街頭募金も
8校から43名が参加し交流深める**



高校生が国際理解、交流を深めるための「高校生国際理解セミナー2014」（青少年センターと共催）を昨年12月23日（祝・火）に市民交流プラザマルチメディアスタジオで開催しました。参加者43名が5つのグループに分かれて、高校生の進行で活発な意見交流が行われました。

午前10時から開講式の後、広島大学大学院教育学研究科教授の由井義通氏による基調講演「現代インドの魅力」について、インドには何度も足を運ばれ、村の子どもたちの生活の様子やカースト制、歴史、文化などを説明されました。

そして、体験発表では、ノートルダム清心高校1年の濱崎楓子さんが「高校生平和大使として派



遣されたドイツでの体験」、広島市立沼田高校3年の高木彩香さんが「2014広島市・大邱

広域市青少年交流事業」で大邱広域市青少年交流団を迎えたこと、また、広島大学付属高校ユネスコ班は「平和公園の碑めぐりと他校との交流」の体験を報告しました。

その後、「講座」と「体験発表」を踏まえて、意見交換を行い、「行ってみたい国」や「どうしたら行ってみたいくなるか」などを討議し発表しました。

昼食の後、午後からは、八丁堀天満屋ビル前の街頭で“恵まれない子どもたちに教育支援を”と通りかかる市民に募金を呼びかけました。募金額75,945円は（公社）日本ユネスコ協会連盟へ送付させていただきました。寒い中、ご参加いただきました皆さん、ありがとうございました。



(青少年育成部会長 國田繁)

ユネスコ

【ユネスコ憲章前文から】

「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」

【ユネスコのあゆみ】

「ユネスコ」(国際連合教育科学文化機関)は、国際平和と人類の福祉の促進を目的とした国連の専門機関の一つです。本部はフランスのパリ。第二次世界大戦終結直後の1945年(昭和20年)11月16日に「憲章」が採択され、翌年11月4日、20カ国の批准により憲章が効力を発しユネスコが誕生。日本は51年7月2日にユネスコに加盟。これより早い47年7月19日、世界初のユネスコ協会(当時は協力会)が、日本の仙台に発足し、京都、神戸、大阪に相次ぎ誕生しました。

広島ユネスコ協会の主な活動

広島ユネスコ協会は、1973年(昭和48年)6月、広島市内を中心にユネスコ活動を支援、推進する民間団体として設立されました。

【活動事例】

- 原爆ドーム保存、世界遺産運動支援
- ユネスコ活動奨励賞の選考・授賞
- 世界寺子屋運動支援の街頭募金活動や書き損じはがき回収運動
- 平和の鐘を鳴らそう事業
- 国際理解セミナーの開催
- ユネスコ・サロン(現地講座も)
- 英語会話・講座の開催
- 大韓民国UNESCO大邱協会との交流

事務局からのお知らせ

「被爆・終戦70年記念」で機関紙特別号発行へ

「平和へー私が伝えたいこと、残したいこと」

【趣旨】

広島ユネスコ協会は、被爆・終戦70年企画事業の一つとして、機関紙「ヒロシマユネスコ」の特別号を発行します。内容は当協会員の中で「戦争の時代、被爆の体験、復興の歴史」など貴重な体験をされた方々に、次の世代に「これだけは語り、書き継いでおかねば」との、平和への願いを込めて執筆していただく内容です。発行は8月1日付けを予定しています。連絡窓口は森木理事まで。携帯電話090-7132-2284。自宅 〒734-0003 広島市南区宇品東1丁目1-58-705 FAX 255-5464 eメールqqqu3v5d@wish.ocn.ne.jp

新会員歓迎!

ユネスコの精神に賛同し、協会の活動に参加したり支援をしていただける、新たに当協会会員となられる方を歓迎します。

年会費 3,000円。但し、10月以降の加入の場合は1,500円。申込先: 藤井 090-7976-5940

又は、広島ユネスコ協会HP入会案内へ

今回からA4判の紙面に!

機関紙「ヒロシマユネスコ」は、今回の89号から紙面をリニューアルし、タイトルデザインも刷新。A4判縦長、記事横組、活字を大きくしました。今後さらに内容の充実を目指します。ご愛読のほど宜しくお願いします。

「ヒロシマユネスコ」のロゴデザインは、穴吹デザイン専門学校の生徒さんにお願ひし、応募24点の中から、島まゆみさん(3月既卒業)の作品を、優秀作品として採用させていただきました。

日誌

〈'15年1月〉

- 8日/「ユネスコ活動奨励賞・新春フェスタ」で打合せ会議(教育部会 文化部会市文化交流会館)
- 11・18・25日/時事英語講座(青少年育成部会 青少年センター)
- 17日/新春フェスタ・講師と

の打ち合わせ(文化部会市文化交流会館)

- 22日/新春フェスタ準備会(事務局 文化部会 段原公民館)
- 24日/新春フェスタ・第17回ユネスコ活動奨励賞授賞式(市文化交流会館)

〈2月〉

- 1日/時事英語講座(青少年育成部会 青少年センター)

- 20日/広報紙編集会議(広報部会 市民交流プラザ)
- 25日/杉並ユネスコ協会の広島訪問などで打ち合わせ会議(平和・世界遺産部会 市民交流プラザ)

〈3月〉

- 14日/第162回ユネスコサロン「平和と通り樹木探索」講師・平和と通り樹の会代表 六重部篤志(文化部会

竹屋公民館)

- 14日/理事会(アステールプラザ)

- 17日/ユネスコスクール認定プレート贈呈式(教育部会 広陵高校)

- 25・26日/杉並ユネスコ協会第17回広島訪問平和学習受け入れ(平和・世界遺産部会 広島平和記念資料館など)